

# 第17期 決算説明資料

(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

For Year Ended February 29,2008

2008年4月10日



株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

**JASDAQ**  
Listed Company 8787



# 目次

---

---

## I 17期の営業概況

1. 主要数値実績	3ページ
2. 主要財務数値	4ページ
3. 財務ハイライト	5ページ
4. 部門別業績	6ページ
5. カード会員数	7ページ
6. ショッピング取扱高	8ページ
7. 月間稼働率・請求額	9ページ
8. ショッピングリボ、分割払いの取扱高・残高	10ページ
9. 融資取扱高・残高	11ページ
10. 保険・リース・マーケティング事業	12ページ
11. 貸倒および利息返還損失の対応状況	13ページ
12. リスクマネジメント	14ページ
13. 資金調達	15ページ

## II 18期の取り組み

1. 中期経営方針	17ページ
2. 中期3カ年の位置づけ	20ページ
3. カード事業	21ページ
4. 融資事業	22ページ
5. 保険・リース事業	23ページ
6. マーケティング事業	24ページ
7. 貸金業法への対応	25ページ
8. 生産性向上・ローコスト経営の推進	25ページ
9. 資金調達	26ページ
10. 配当について	27ページ
11. 経営目標	28ページ

---

---

# I 第17期の営業概況

(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

# 1. 主要数値実績

	前期	当期	増減
<b>営業収益</b> Operating revenues	17,699百万円	19,329百万円 	<b>16.3億円 (9.2%増)</b>
<b>営業利益</b> Operating income	3,996百万円	2,781百万円 	<b>▲12.1億円 (30.4%減)</b>
<b>経常利益</b> Ordinary income	4,011百万円	2,792百万円 	<b>▲12.1億円 (30.4%減)</b>
<b>当期純利益</b> Net income	1,809百万円	1,745百万円 	<b>▲0.6億円 (3.5%減)</b>
1株あたり			
当期純利益 Net income per share	96.21円	92.82円	<b>▲3.39円</b>

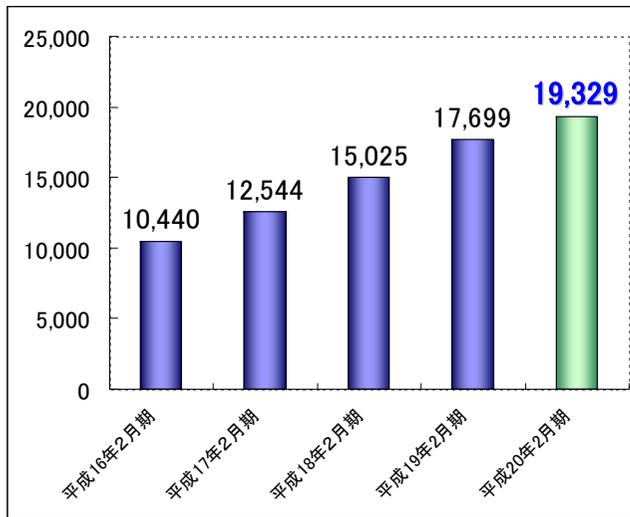
## 2. 主要財務数値

	前期	当期	増減
資本金 Common stock	1,610百万円	1,610百万円	➡ 増減なし
総資産 Total assets	94,947百万円	114,974百万円	➡ 200億円 21.0%増
純資産 Total shareholders' equity	12,696百万円	14,234百万円	➡ 15億円 12.1%増
自己資本比率 Shareholders' equity ratio	13.4%	12.4%	➡ 1.0%減
1株あたり純資産 Shareholders' equity per share	675.10円	756.84円	➡ 81.74円増

# 3. 財務ハイライト

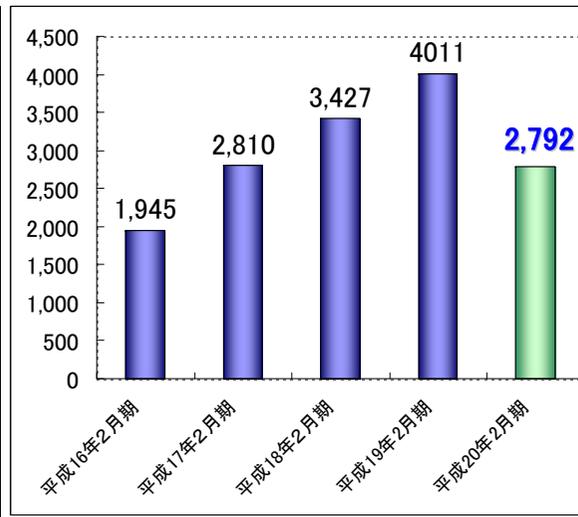
## 営業収益

(百万円/Millions of yen)



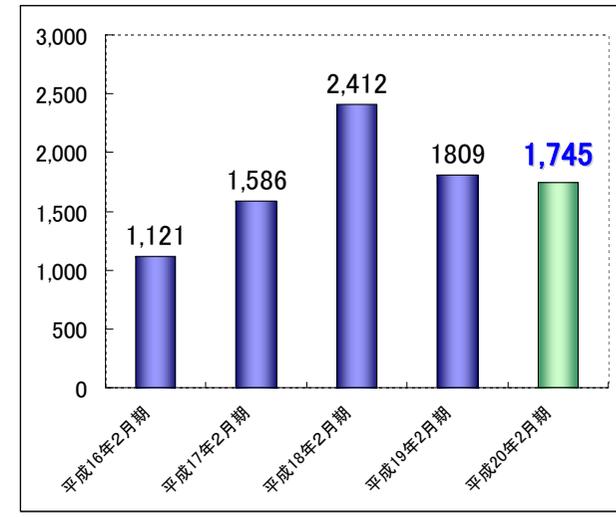
## 経常利益

(百万円/Millions of yen)

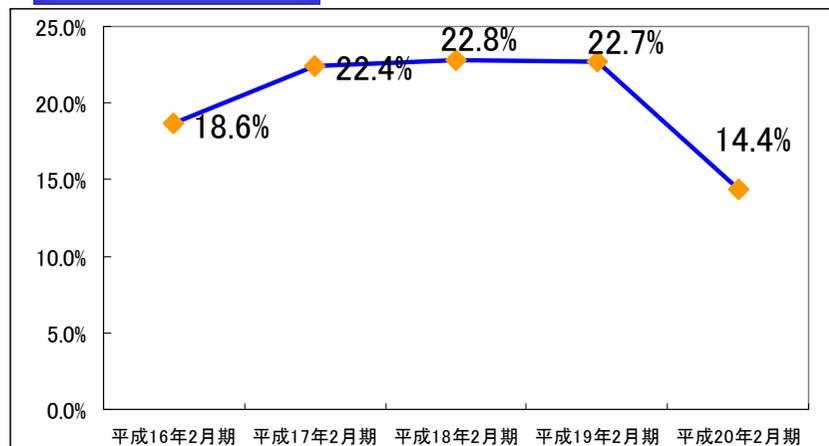


## 当期純利益

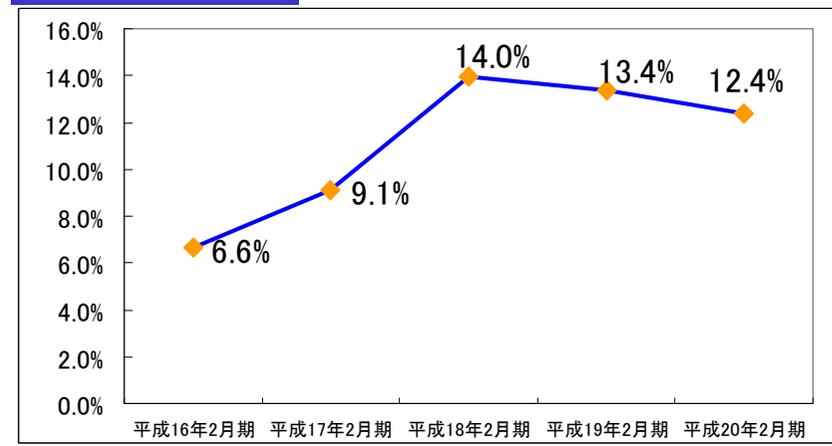
(百万円/Millions of yen)



## 経常利益率



## 自己資本比率

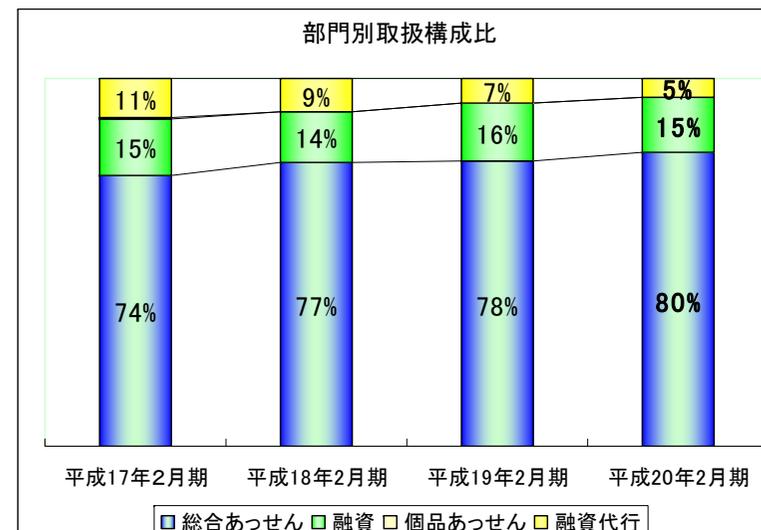


# 4. 部門別業績

## 取扱高 Trading volume

(単位：百万円/Millions of yen)

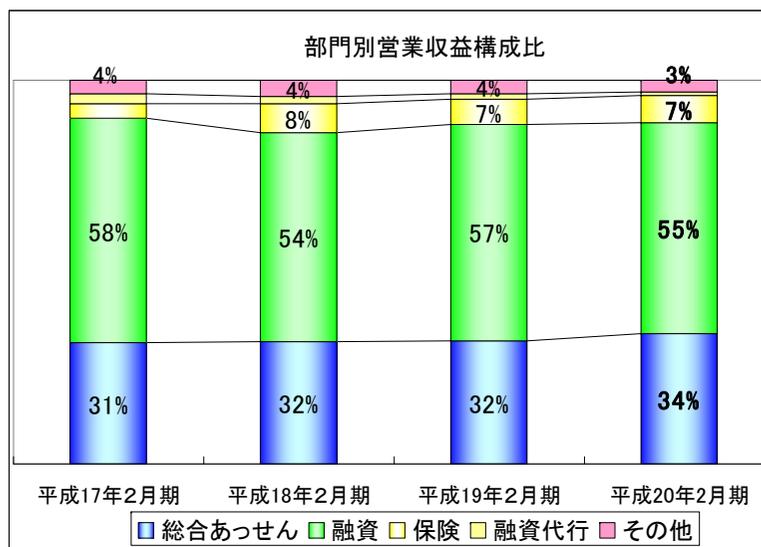
	平成19年2月期	平成20年2月期	前期比増減率
総合あっせん Creditcard shopping	266,963	306,499	14.8%
融資 Loans	54,460	56,615	4.0%
個品あっせん Shoppingloans	192	124	-35.4%
融資代行 Service fee	22,712	18,445	-18.8%
合計 Total trading volume	344,329	381,685	10.8%



## 営業収益 Operating revenues

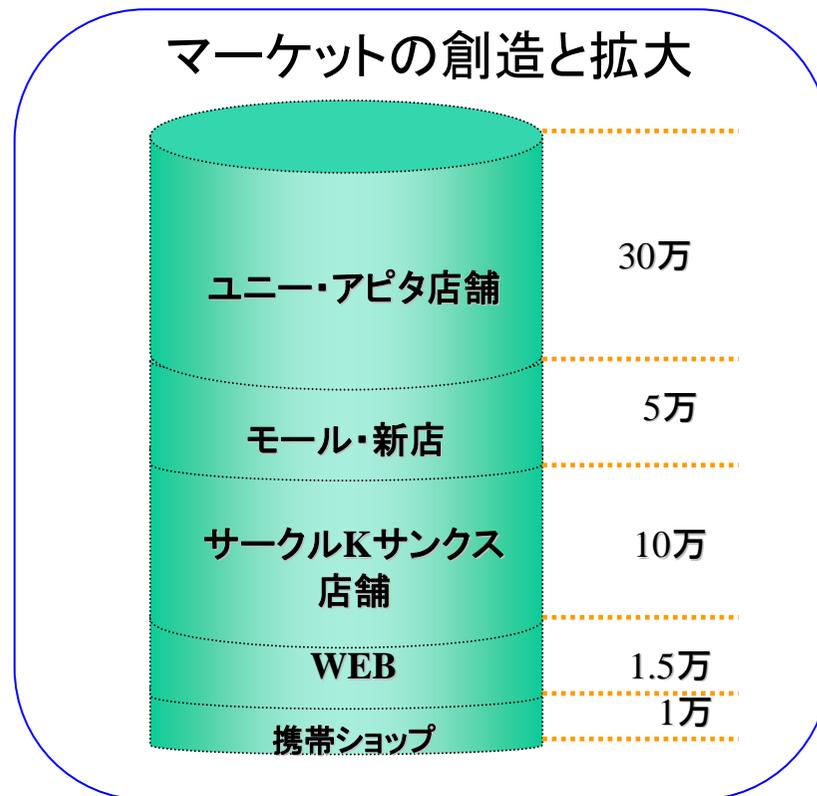
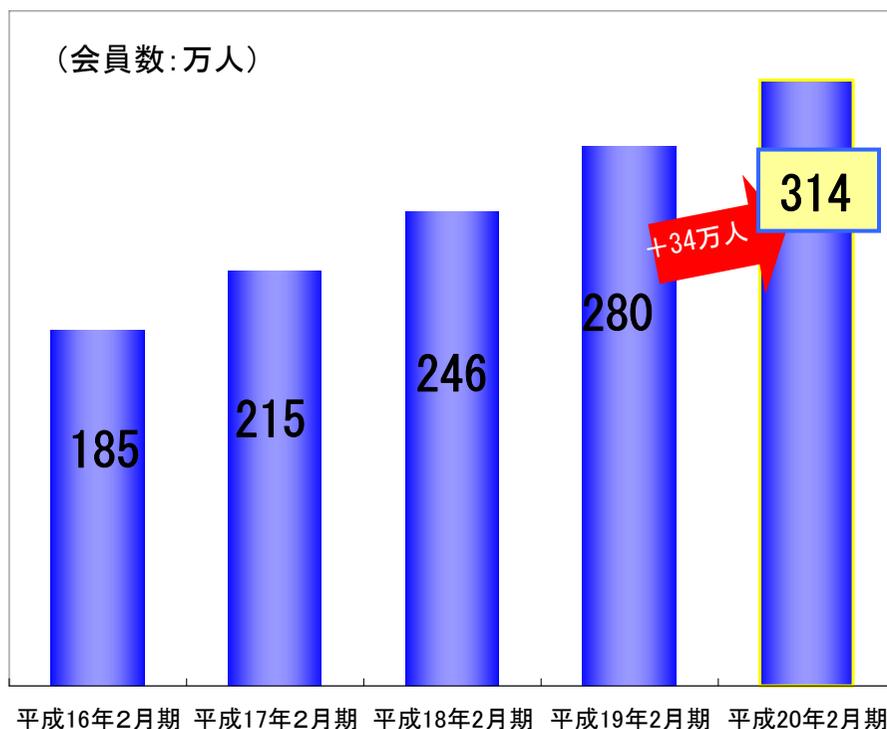
(単位：百万円/Millions of yen)

部門	平成19年2月期	平成20年2月期	前期比増減率
総合あっせん Creditcard shopping	5,657	6,533	15.5%
融資 Loans	10,031	10,727	6.9%
融資代行 Service fee	250	196	-21.4%
保険 Insurance agent profit	1,178	1,251	6.2%
その他 Others	583	620	6.3%
合計 Total Operating revenues	17,699	19,329	9.2%



## 5. カード会員数

●新規会員募集	47.4万人	(前期49.6万人)
●カード発行者数	42.4万人	(前期42.2万人)
●退会者数	9.1万人	(前期8.5万人)
●会員数	314.4万人	(34万人純増)

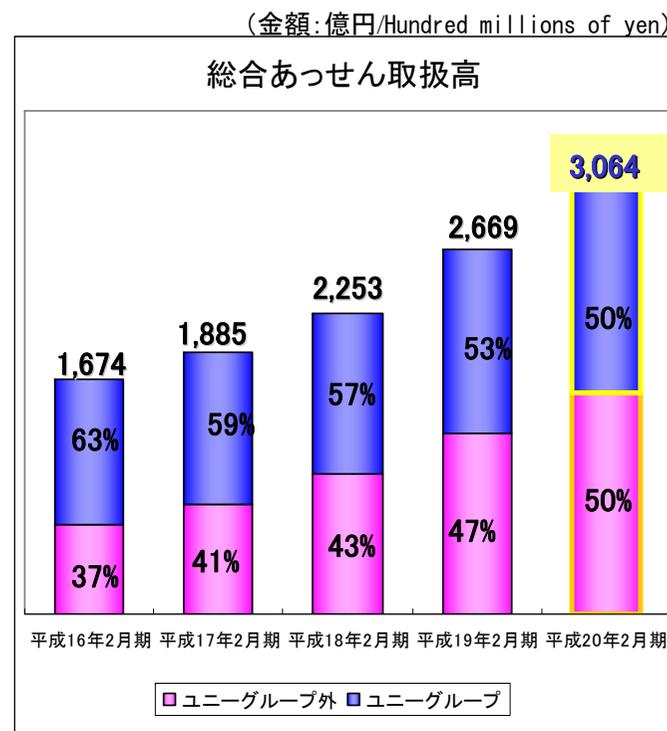


## 6. ショッピング取扱高

【取扱高】 **3,064億円**（前期比増減率 14.8%増）

ユニーグループの深耕とユニーグループ外の拡大が着実に推移。取扱高も3,000億円を超え、グループ外の取扱高構成比が初めて、50%を超えた。

	ユニーグループ	グループ外
取扱高	1,524億円（7.6%増）	1,540億円（23.0%増）
取扱高構成比	49.7%	50.3%
特記事項	・会員数300万人達成記念チケット企画、バースデークーポンなど、オンデマンド印刷を活用したグループ連動企画が定着。	・電力・ガス・携帯電話・ガソリン料金決済の拡大継続。 ・宇佐美鉱油との5%割引キャンペーン実施。



# 7. 月間カード稼働率・請求額

【月間稼働率】 通期平均 32.9% (前期比 1.6%アップ)

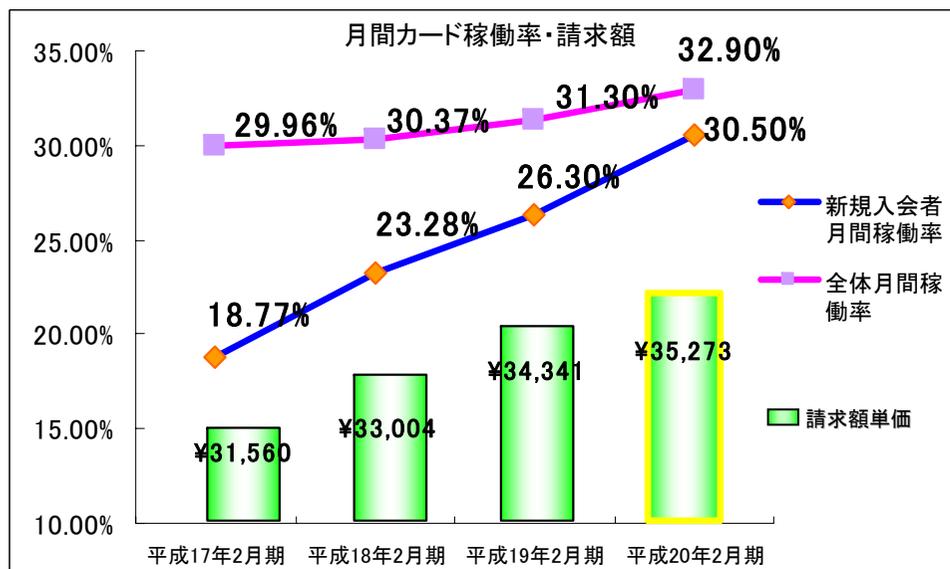
【年間稼働率】 54.8% (前期比 1.8%アップ)

- ・ 即時発行の開始により、新規入会者の月次稼働率も30%以上に上昇。
- ・ 月間請求額も継続的に増加している。

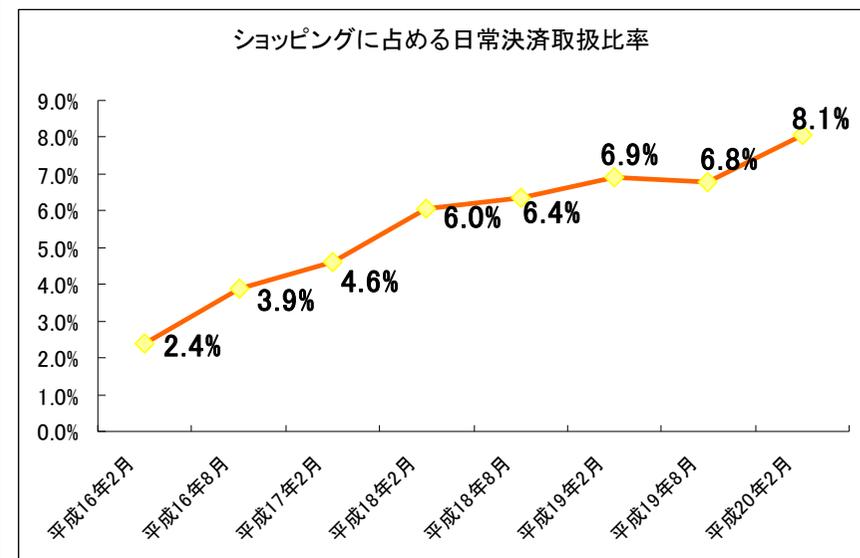
【日常決済領域】 8.1% (平成20年2月実績)

- ・ 電力、ガス料金、携帯電話のカード決済がさらに普及

## 月間稼働率推移



## 日常決済領域



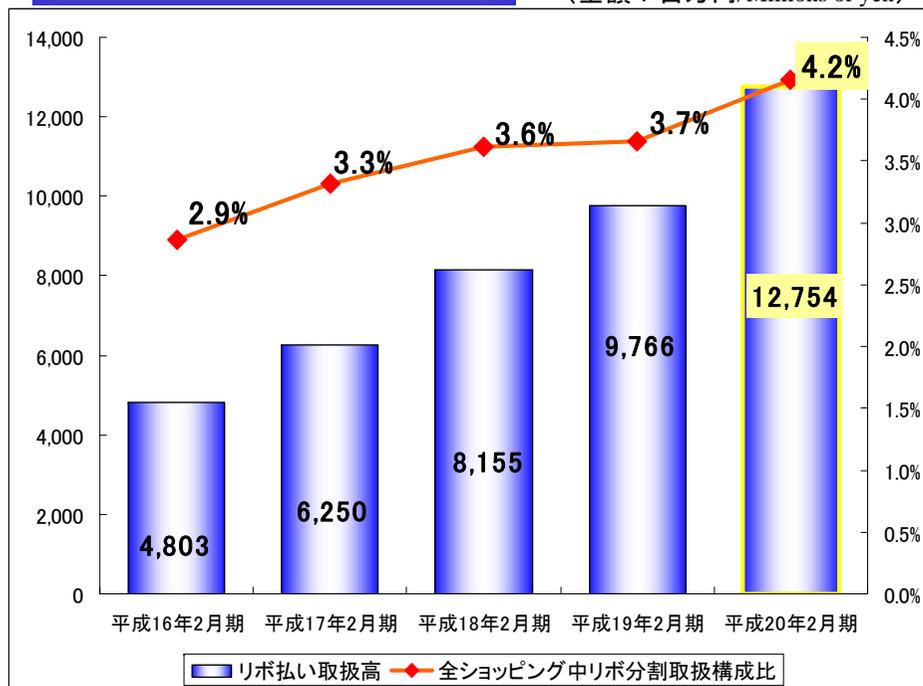
## 8. ショッピングリボ、分割払いの取扱高・残高

【取扱高】 127.5億円 (前期比増減率30.1%増)  
 【残高】 119.2億円 (前期比増減率16.3%増)

総合割賦（分割払い）の取扱開始で、取扱高・残高・収益とも堅調に推移。  
 総合あっせん収益に占める残高商品の収益も23.9%まで上昇し、大きな収益源に成長。

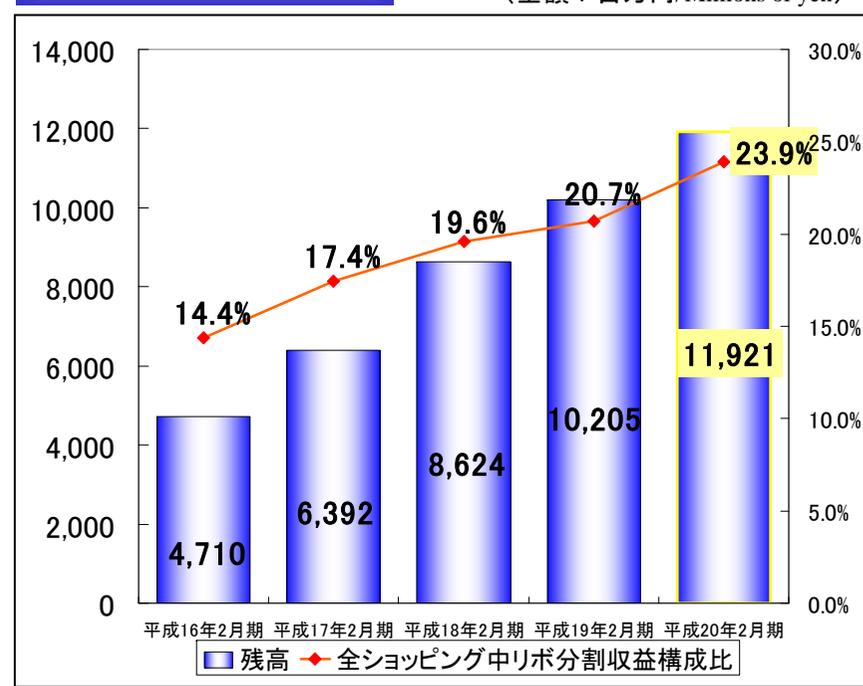
リボ分割取扱高・取扱比率

(金額：百万円/Millions of yen)



残高・収益構成

(金額：百万円/Millions of yen)

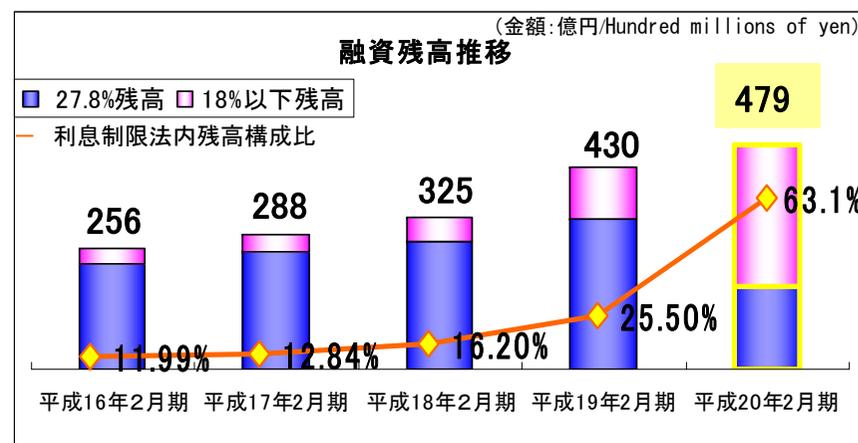
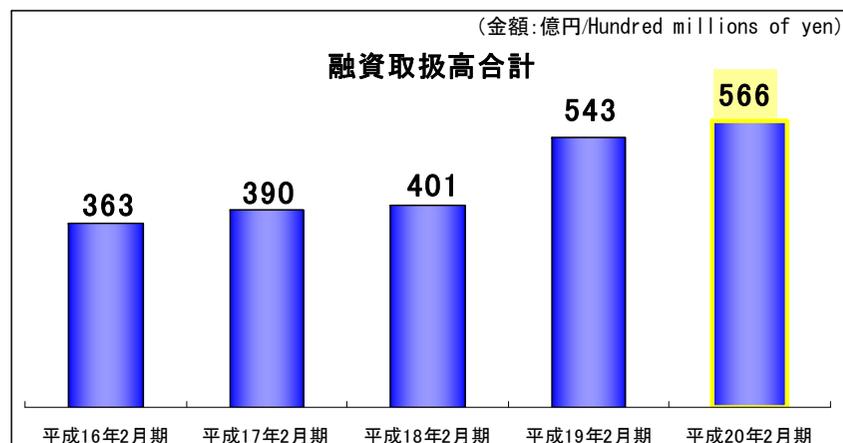


## 9. 融資取扱高・残高

【取扱高】 566億円 (前期比増減率 4.0%増)

【残高】 479億円 (前期比増減率 11.5%増)

貸金業法段階施行を見据え、利息制限法内の商品への切り替えを政策的に実施。  
残高の63.1%が利息制限法内の残高へ移行。



商品別	平成20年2月期	前期比増減率
キャッシング一括	275	4.5%
カードローン・リボ	262	2.6%
ステップワン	21	5.7%
証書貸付	6	39.3%
融資取扱高合計	566	4.0%

商品別	平成20年2月期	前期比増減率
キャッシング一括	29	2.2%
リボ(27.8%)	176	▲39.5%
カードローン・リボ(18.0%)	237	109.2%
ステップワン	30	29.9%
証書貸付	5	22.9%
融資残高合計	479	11.5%

# 10. 保険・リース・マーケティング事業

【営業収益】 **14.6億円**（前期比増減率5.0%増）

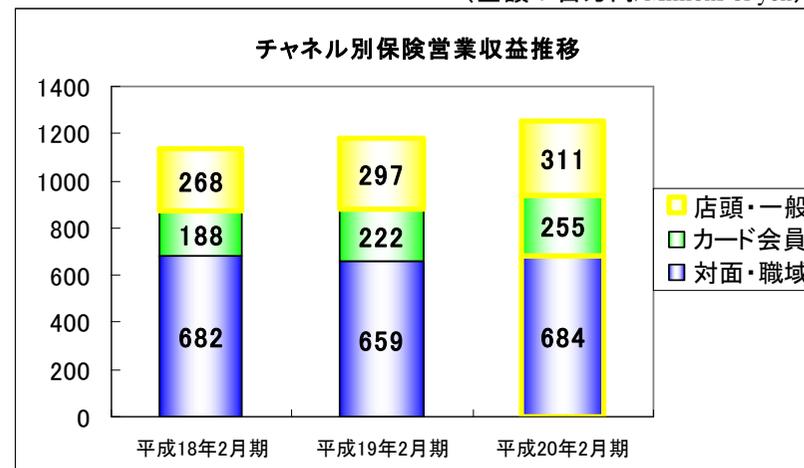
- ・ 保険ショップを新規に2店舗オープンし、累計で30店舗へ
- ・ 総合保険ショップをモール型店舗に3店舗オープン。
- ・ カード会員向けのテレマーケティング推進し、保険収益拡大とカード決済の向上を図った。
- ・ 旅行については、主力のパッケージツアー5%割引が貢献。
- ・ 車両リース契約台数 2,333台へ（前期末比 180台増）

## その他事業営業収益

（金額：百万円/Millions of yen）

事業別	平成19年2月期	平成20年2月期	前年増減率
保険	1,178	1,251	6.2%
旅行	80	83	3.9%
通信販売	32	35	10.2%
リース	106	98	-7.5%
合計	1,396	1,467	5.1%

（金額：百万円/Millions of yen）

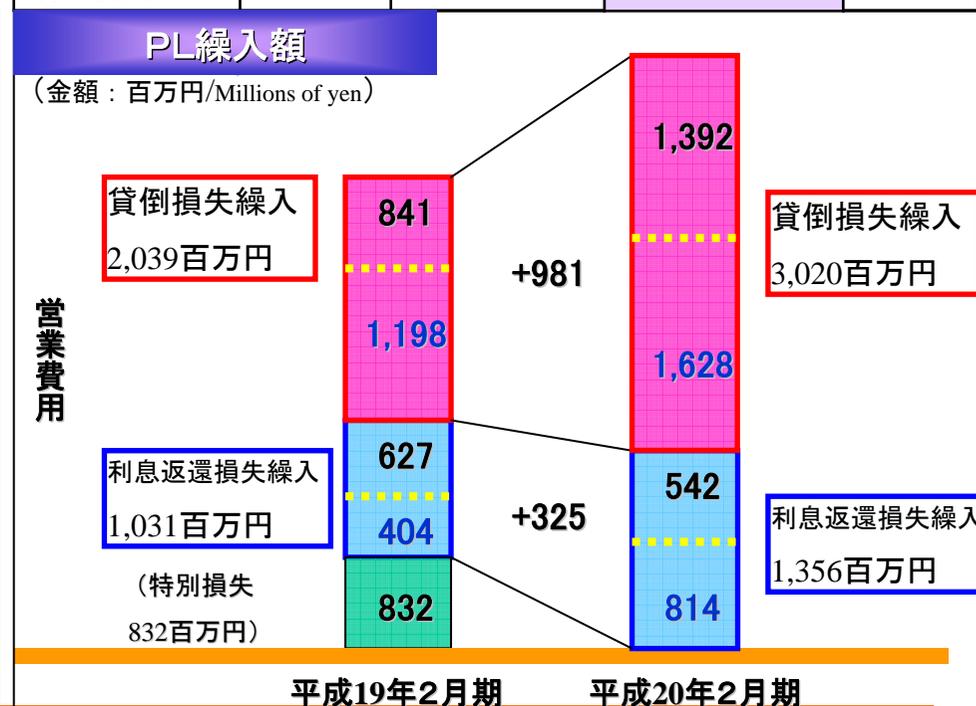
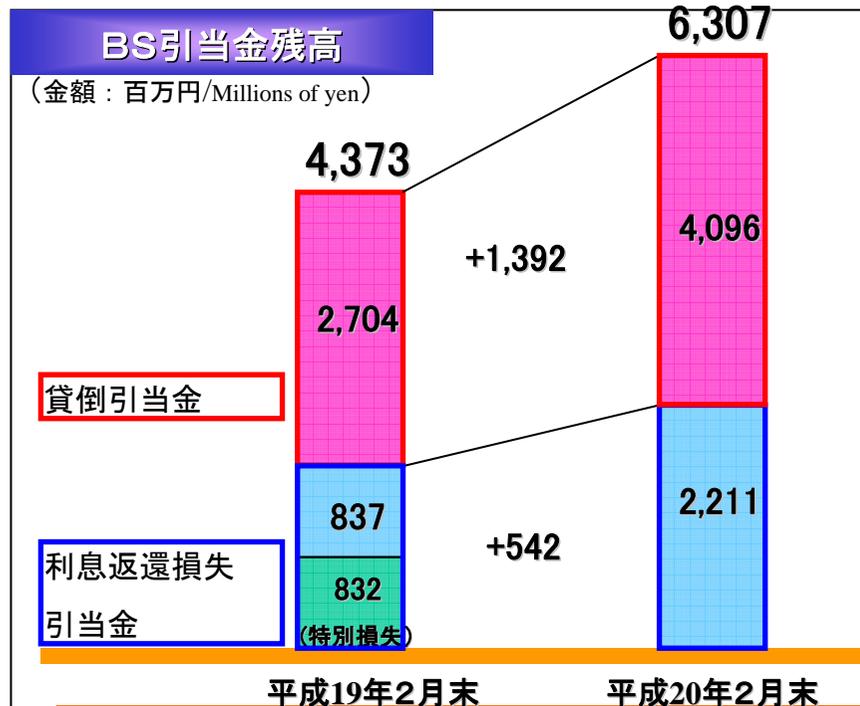


# 1 1. 貸倒および利息返還損失の対応状況

BS	平成19年2月期	平成20年2月期	前期比増減額
貸倒引当金	2,704	4,096	1,392
利息返還損失引当金	1,669	2,211	542
引当金合計	4,373	6,307	1,934

(金額：百万円/Millions of yen)

(金額：百万円/Millions of yen)		平成19年2月期	平成20年2月期	前期比増減額
貸倒損失繰入	引当金	841	1,392	551
	償却額	1,198	1,628	430
利息返還損失繰入	引当金	627	542	-85
	償却額	404	814	410
合計	引当金	1,468	1,934	466
	償却額	1,602	2,442	840
特別損失		832	-	-832



## 12. リスクマネジメント

【延滞率】 (延滞債権残高／売掛金残高) = **4.94%**

【償却率】 (貸倒損失額・利息返還損失額／売掛金残高) = **2.35%**

【引当率】 (貸倒引当金・利息返還引当金／売掛金残高) = **6.07%**

利息返還請求に伴う弁護士介入の増加および貸金業法施行を見据えた審査基準の厳格化等により延滞債権が増加傾向。それに伴う引当金も増加した。

※延滞債権残高 … 1日以上延滞の期末時点の残高

	平成19年2月期	平成20年2月期	前期比増減
延滞率	3.86%	4.94%	1.1%
償却率	1.80%	2.35%	0.6%
引当率	4.90%	6.07%	1.2%

## 1 3. 資金調達

長期調達比率を高め、期末の長期調達比率は69.62%。  
債権流動化は、前期比80億円減少し、10億円。  
平均調達金利は、1.30%。

(金額：百万円/Millions of yen)

	前期末	当期末	増減
短期借入金	15,090	20,690	+5,600
長期借入金	39,600	49,700	+10,100
債権流動化	9,000	1,000	-8,000
長期調達比率	62.18%	69.62%	+7.44%
平均調達金利	1.02%	1.30%	+0.28%

---

---

# Ⅱ 第18期の取り組み

(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

# 1. 中期経営方針

---

---

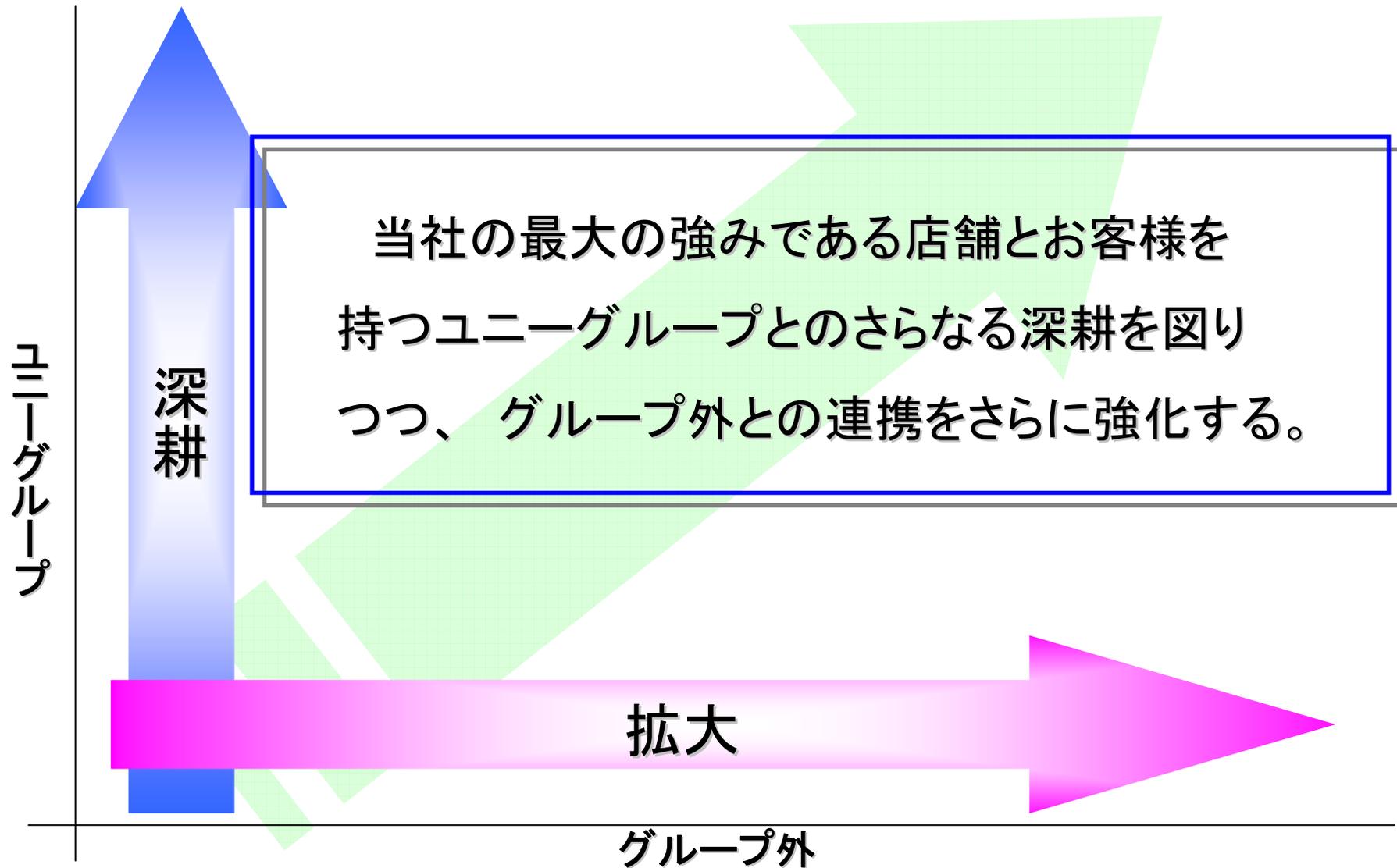
## (1) 基本的考え

①原点に基づきカード事業を核とした総合金融サービス会社を目指す。

②貸金業法、利息返還増という新たなリスクと環境変化に積極的に対応する。

③再び2桁伸張の成長軌道に乗せ、社会的責任を果たすとともに企業価値の向上を図る。

## (2) 原点



## (3) 対応

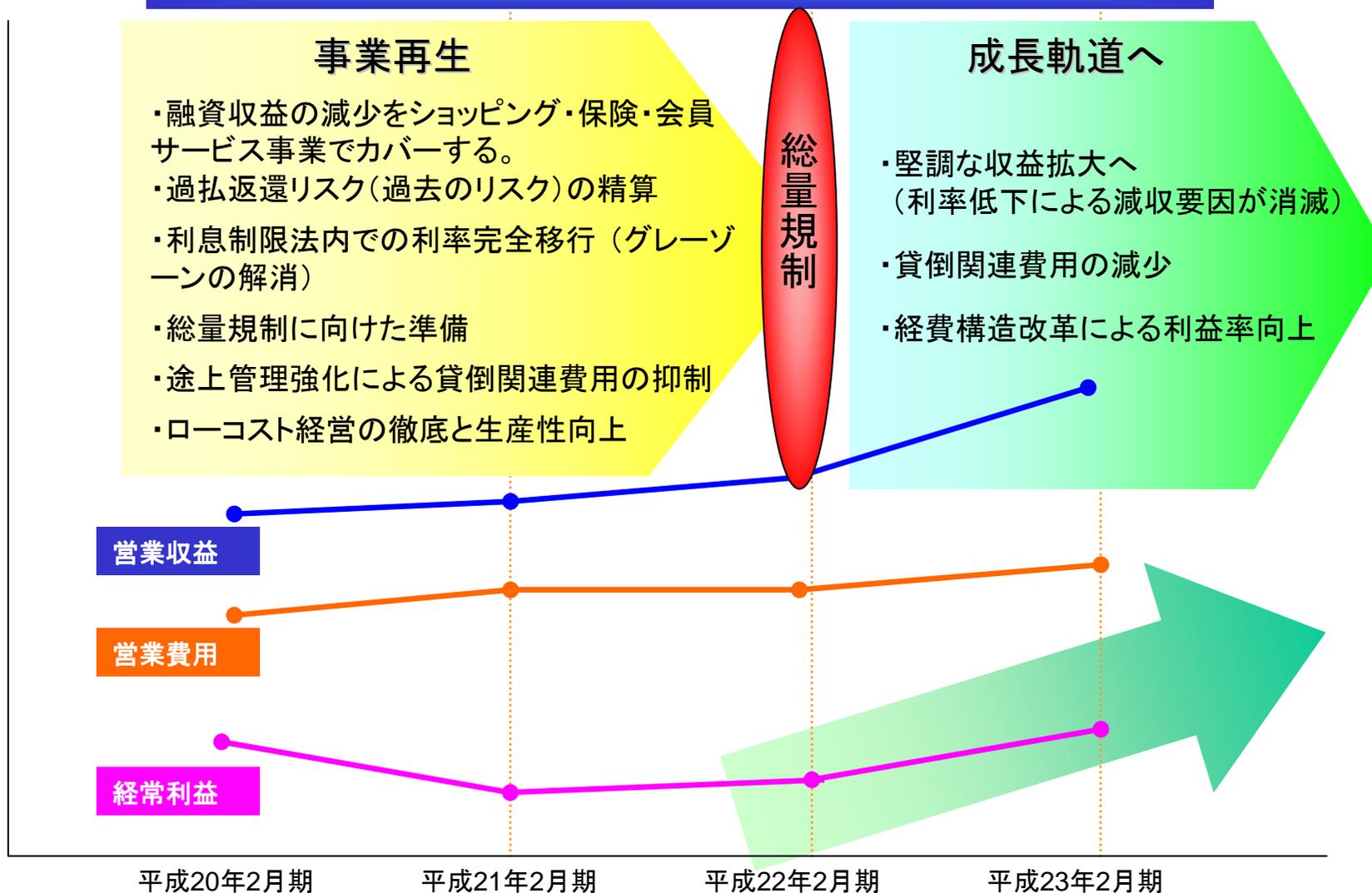
---

---

- (1) 会員をさらに拡大し、地域・生活者に密着した様々な商品・サービスを提供することにより、**ショッピング事業**を拡大する。
- (2) **融資事業**においては、商品の再構築と新商品の開発により新たな顧客を開拓し、融資残高の拡大と収益の維持・拡大を図る。
- (3) **保険事業**においては、グループの職域と保険ショップ、そしてカード会員への通販といった三位一体の活動で大きな収益の柱としてさらに拡大させる。
- (4) カード会員への**マーケティング事業**として、旅行・金融商品・サービスを他企業と連携し、強化していく。
- (5) **ローコスト経営**を推進し、生産性の高い健全な経営体質を作り上げる。

## 2. 中期3カ年の位置づけ

事業再生・収益構造改革 → 成長軌道へ



### 3. カード事業

- 会員数計画 **340万人**(前期末 + 26万人)
- 取扱高 **3,530億円**(前期比増減率 15.1%増)
- 残高 **137億円**(前期比増減率 14.9%増)

#### カード会員数の拡大

稼働する会員を拡大することを中心点として、募集体制・募集チャネル・審査スピードなどあらゆる面を改革する。

#### ショッピング取扱高

オンデマンド印刷を活用したクーポン企画をさらに推進し、グループと連動した企画を推進するとともに、日常決済領域、拡大する決済分野の利用促進によりグループ外の拡大も図る。

#### 残高商品の拡大

新メニューとして、「あとから分割」を開始するとともに、ユニー食品レジでのリボ払いの取扱を開始する。

## 4. 融資事業

➤ 取扱高	590億円 (前期比増減率 4.5%増)
➤ 残高	500億円 (前期比増減率 5.9%増)
➤ 収益	99億円 (前期比増減率 5.4%減)

### 新規利用者の拡大

貸金業法と自主規制に対応した適性と信の範囲内で、新規利用者の拡大を図る。

### 新商品・マーケットの創造

一人一人のライフサイクルに合わせた目的別ローンの開発と提案力を強化する。

ローンカードの料率を再構築し、競争力ある商品としてWEBを中心とした募集展開を図る。

### 残高の移行

利息制限法内の利率への残高移行を継続的に実施し、総量規制前に残高移行を完了させる。

## 5. 保険・リース事業

- 損害保険手数料収益 **6.8億円** (前期比増減率 4.2%増)
- アフラック手数料収益 **3.7億円** (前期比増減率 18.9%増)
- 車両リース収益 **0.9億円** (前期比増減率 9.4%増)

### グループでの拡大

従業員・取引先への各種保険販売に加え、リースも含めた総合提案を推進する。

### アフラックショップの採算性向上

個店別のスキルアップ・運営体制向上により、採算性を向上させる。

### 車両リースの拡大

既契約先のサークルKサンクスの車両入れ替えと新規取引先の開拓による収益拡大を図る。

## 6. マーケティング事業

- 通販保険手数料収益 **3.4億円** (前期比増減率 33.7%増)
- 旅行手数料収益 **0.9億円** (前期比増減率 12.0%増)
- 営業利益率 **73%** (前期 68%)

### 通販保険の拡大

複数の保険会社・商品を取り揃え、会員属性に合わせたテレマーケティングを強化・実施する。

### パッケージツアーへの特化

顧客の多様化・個性化を受け、企画旅行ではなく、会員特典であるパッケージツアー割引に特化した営業を行う。

### ローコスト運営による営業利益率向上

紙媒体からWEBへの誘導へ切り替えるなど、徹底したローコストを実践し、営業利益率の向上を図る。

## 7. 貸金業法への対応

### (1) 基本的な考え方

法令を遵守し、健全な事業構造へ早期に再生させる。

自主規制

平成19年12月

指定信用情報

平成21年6月

総量規制

平成21年12月

融資利率

新規融資対応済み。既存残高も総量規制前にすべて移行完了。

適正残高

途上与信強化による残高適正化を推進。指定信用情報制度開始時にさらに精緻に実施。

適正与信

総量規制を見据えて、融資における審査基準を厳格化。

システム対応

年収管理・与信管理、定期的な信用調査と報告への対応を進める。

新規利用拡大

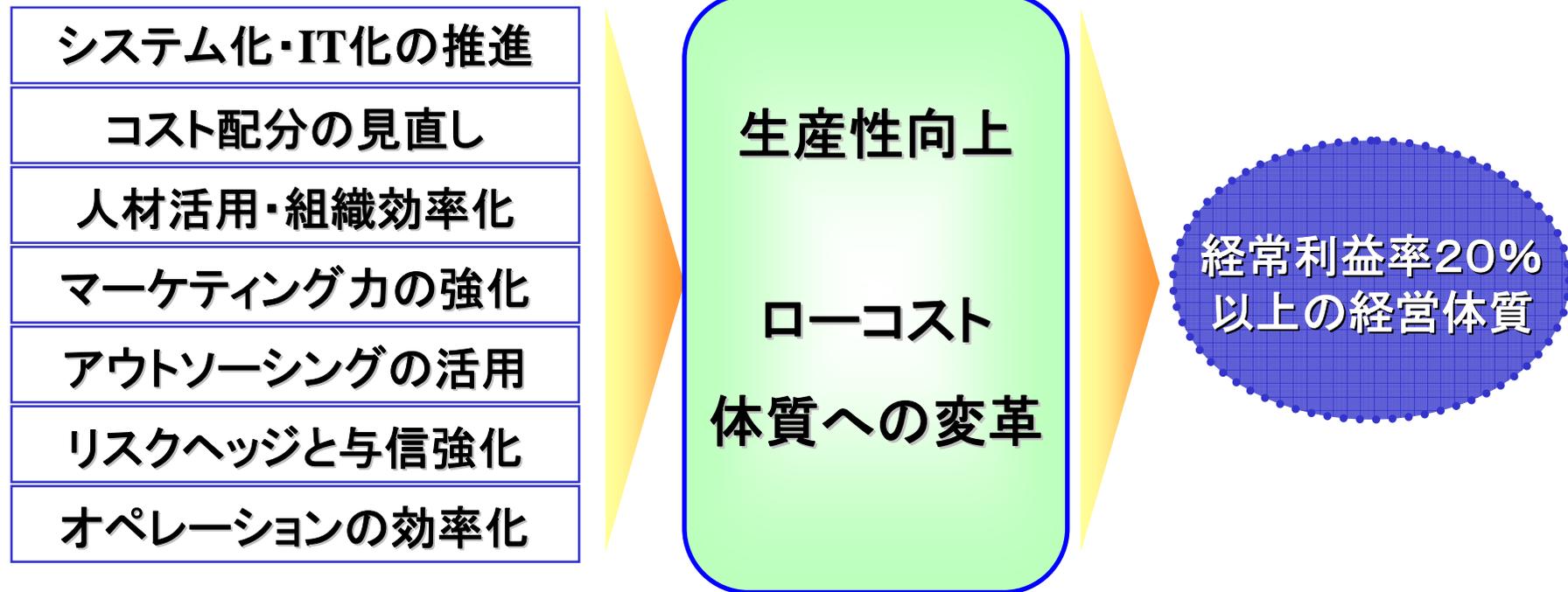
一人一人のニーズに合わせて、目的別ローンや利便性の高い極度方式のローンカードを推進、拡大する。

## 8. 生産性向上・ローコスト経営の推進

### 基本的な考え方

IT化の推進・コスト配分の見直し・効率化の徹底などあらゆる面で経費構造を変革し、  
経常利益率20%以上の強い経営体質を再構築する。

### 経費構造の変革

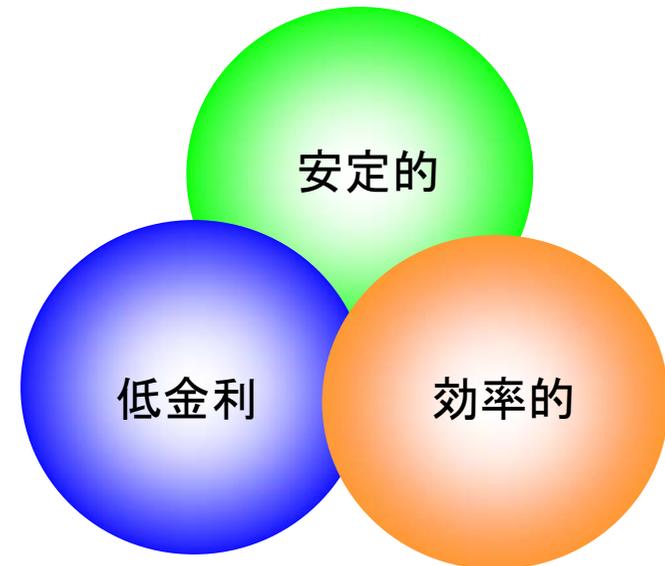


## 9. 資金調達

### 基本的な考え方

市場金利の利上げは当面回避されたが、今後も事業活動に多額の資金を必要とする当社にとって調達金利の動向は利益を大きく左右する。中期的には小幅な利上げがあることも予想されるなかで、「**安定的**」「**低金利**」「**効率的**」を基本方針として取組む。

- ・長期短期の比率は、70:30を堅持する。
- ・調達手段の多様化を図る。  
金融機関からの借入れ＋債権流動化、CP発行
- ・借入れ比率の低減  
総債権に対する借入れ比率を68%以下にへ抑制する。
- ・余剰資金は、短期での運用を行い、効率的な資金運用を図る。

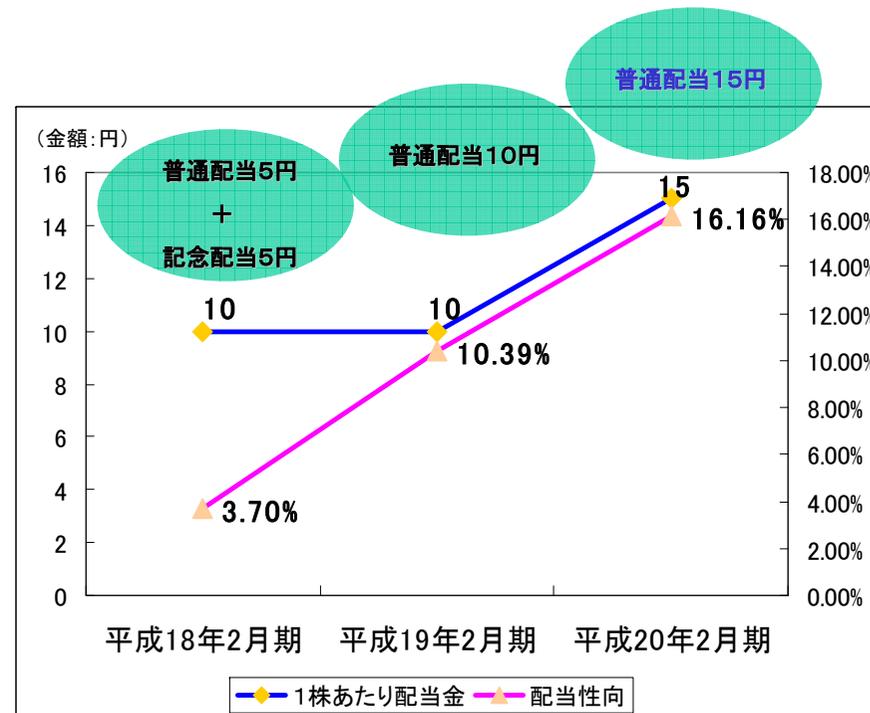
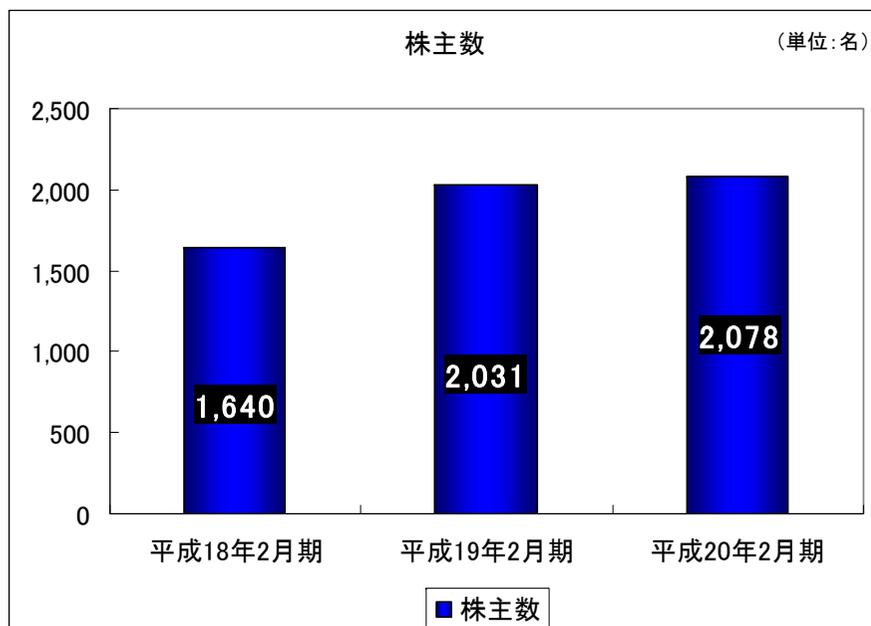


# 10. 配当について

## 基本的な考え方

株主還元策としての配当は、安定かつ継続的に行うことを基本として、適正に利益を上げる中で内部留保と株主還元を実施する。

第17期の剰余金処分案として、**普通配当を5円増配し、15円**とすることを株主総会へ提案する。



# 1 1. 経営目標

## ■ 中期業績目標

	第18期	第19期	第20期
	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期
営業収益 Operating revenues	195億円	200億円	220億円
経常利益 Ordinary income	20億円	20億円	30億円
当期純利益 Net income	12億円	12億円	18億円